

Ibaraki Prefectural Chuo School of Nursing

助産学科

看護学科3年課程

看護学科2年課程

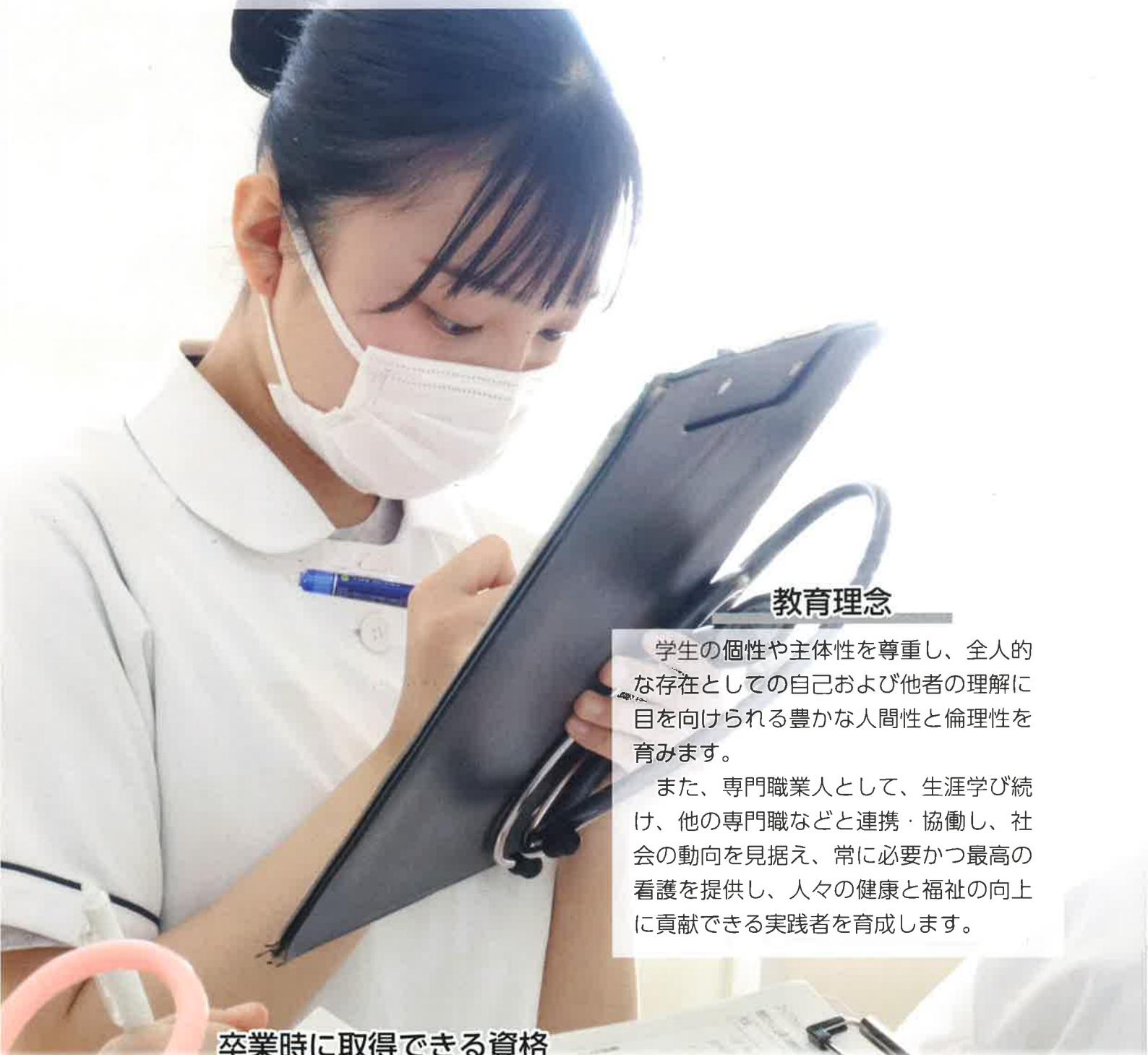


2024

茨城県立
中央看護
専門学校

教育方針

1. 学生の個性や主体性を尊重し、生き生きとした校風を大切にする。
2. 学校環境を充実させ、学生の自ら学ぶ姿勢を支援する。
3. 学生及び教員間の交流を深め、何でも相談できる雰囲気を整える。
4. 地域との結びつきを促進し、情操を育む。



教育理念

学生の個性や主体性を尊重し、全人的な存在としての自己および他者の理解に目を向けられる豊かな人間性と倫理性を育みます。

また、専門職業人として、生涯学び続け、他の専門職などと連携・協働し、社会の動向を見据え、常に必要かつ最高の看護を提供し、人々の健康と福祉の向上に貢献できる実践者を育成します。

卒業時に取得できる資格

- 助産師、看護師国家試験の受験資格
- 保健師、助産師学校養成所の受験資格
- 専門士（看護専門課程）の称号
- 大学等への編入学資格

学校長あいさつ

高柳 久美



本校は、助産師及び看護師を養成する教育機関です。これまでに総勢約8,900名以上の助産師・看護師がこの学び舎から巣立ち、その殆どが茨城県内に就業し、ベテランから新人まで幅広く活躍しています。

本校は豊かな人間性と倫理性を育むことを教育理念に置き、地域社会に必要な保健・医療・福祉のニーズに対応できる人材を育成しています。

看護職は、人の生命に関わる専門性の高い職業であり、確かな知識と技術に裏付けされた冷静な判断力と、思いやりのある温かい心、そして相手と関わるコミュニケーション能力が必須です。当校では、卒業までに必要な教養・資質を養うために多くの学びや経験が出来るよう学習環境を整えています。

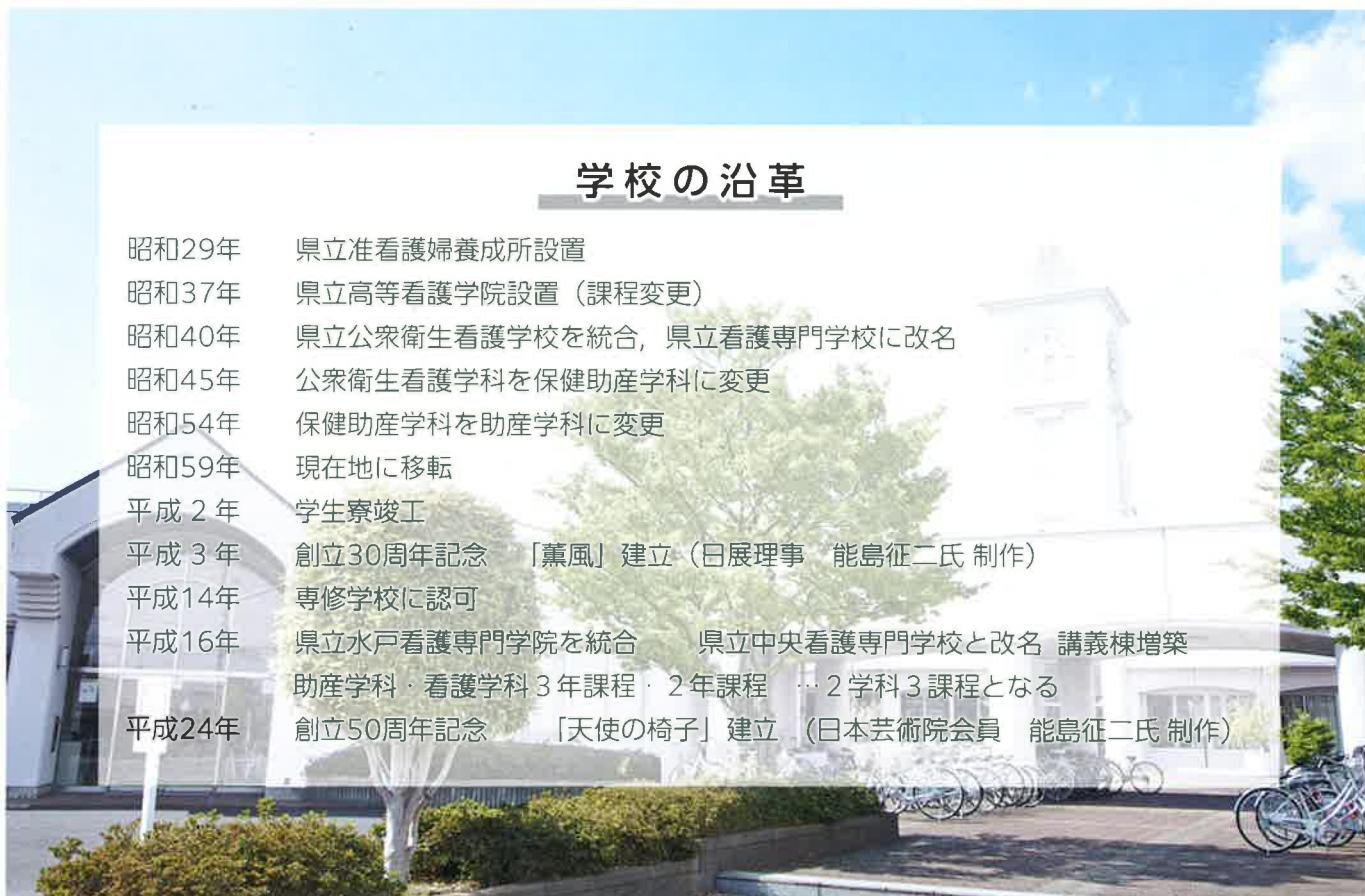
実際の臨床場面をリアルに再現した状況でその経験の振り返り、ディスカッションを通して専門的な知識・技術・態度の統合を図ることを目指すシミュレーション教育の充実や看護映像教材の24時間動画配信サービス、看護学科3年課程は電子テキストの導入・活用等、学生の皆さんのが楽しく学び、より主体的な学びへつながるよう学習環境を整備し支援しています。

また、県内の医療機関や教育機関の全面的な支援を受けて豊富な講師陣をそろえ、多くの実習施設を確保しています。本校卒業の多くの先輩たちも県内各地の臨地実習等で指導にあたってくれます。

助産師・看護師は責任ある仕事ですが、やりがいのある職業です。皆様の夢が実現できるよう、教員一同一丸となって全力できめ細やかな教育指導を行って支援いたします。皆さんの入学を心よりお待ちしております。

学校の沿革

昭和29年	県立准看護婦養成所設置
昭和37年	県立高等看護学院設置（課程変更）
昭和40年	県立公衆衛生看護学校を統合、県立看護専門学校に改名
昭和45年	公衆衛生看護学科を保健助産学科に変更
昭和54年	保健助産学科を助産学科に変更
昭和59年	現在地に移転
平成2年	学生寮竣工
平成3年	創立30周年記念 「薰風」建立（日展理事 能島征二氏 制作）
平成14年	専修学校に認可
平成16年	県立水戸看護専門学院を統合 県立中央看護専門学校と改名 講義棟増築
助産学科・看護学科3年課程・2年課程…2学科3課程となる	
平成24年	創立50周年記念 「天使の椅子」建立（日本芸術院会員 能島征二氏 制作）



放送大学とのダブルスクールにより
大学卒業資格の取得も可能
放送大学より学士（教養）を授与
看護学士の申請の途もあり

社会人の方は教育訓練給付制度
を利用できます。
「専門実践教育訓練給付金」制度

助産学科

- 定員 25名（修業年限1年）
- 入学資格 看護師の資格を持つ者、又は看護師学校卒業見込みの者
- 取得できる資格 助産師国家試験の受験資格
受胎調節実地指導員の申請資格
新生児蘇生法修了認定の申請資格

教育目標

1. 女性の性と生殖の側面から健康を守る助産師活動において、人間の尊厳と権利を擁護できる能力を養う。
2. 専門的知識と科学的思考に基づいた判断力と実践力を養う。
3. 女性の生涯にわたる健康を支援し、地域の母子保健に寄与できる能力を養う。
4. 助産師の役割及び責務を自覚し、他の専門職と連携しながら自律した役割を遂行できる能力を養う。



教育内容	授業科目
基礎助産学 助産の対象、性と生殖及び母子の健康に関する基礎的知識を学ぶ	助産学概論、人間の性と生殖、周産期と乳幼児の生理、周産期と乳幼児の病態 母子の健康科学、家族社会学 ウイメンズヘルス
助産診断・技術学 助産の実践に必要な基本的技術及び経過診断や正常からの逸脱を判断する臨床判断能力を養う	妊娠期の助産診断・技術学、 分娩期の助産診断・技術学Ⅰ、Ⅱ 産褥期の助産診断・技術学、 新生児期の助産診断・技術学、 ハイリスク妊娠褥婦の助産診断・技術学、 緊急時の助産診断・技術学、健康教育技法Ⅰ、Ⅱ
地域母子保健 地域における母子保健活動に必要な知識を学ぶ	地域母子保健
助産管理 助産業務管理に必要な知識を学ぶ	助産管理
助産学実習 知識・技術を統合し、安全で快適な助産ケアを提供できる実践能力を養う	助産診断・技術学基礎実習、 助産診断・技術学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、 地域母子保健実習、助産管理実習

1年間
34単位(1050時間)

2022年度より
新カリキュラム

学費等	
入学料	5,650円
授業料	月額14,900円 ※4月、10月に6ヶ月分前納
教科書、参考書等	200,000円程度
教材、学会・研究会等	250,000円程度
実習費	600,000円程度 (交通費・食費は含まず)

【年間スケジュール】

4月	入学式 講義開始
6月	助産診断・技術学基礎実習
7月	分娩介助技術試験 助産管理実習 (NICU・GCU)
8~11月	助産診断・技術学実習 I・II・III
12月	助産管理実習 (助産所) 地域母子保健実習 (産後ケアセンター)
1月	地域母子保健実習 (市町村) 母体救急シミュレーション
2月	助産師国家試験 卒業記念講演
3月	卒業式



【卒業生からの MESSAGE】

入学当初は、専門性の高い授業についていけるのか、多忙な学校生活を乗り越えられるのかと不安がありました。しかし、この1年は学びの連続であり、大変なこともありました。思い出るのはどれも楽しい記憶ばかりで、本校で学んだ日々はかけがえのないものとなりました。

学内演習では、設備が充実しており、グループワークやシミュレーション学習を通して、より臨床に近い環境で助産技術を習得することができました。また、先生方の一人ひとりに寄り添う手厚い指導のもと学生同士で助け合い、私たちは一人も欠けることなく学校生活を送ることができました。

本校助産学科での学びは、目指す助産師像が明確となり、助産師としてだけでなく人として成長することができました。進学は勇気のいる挑戦であると思いますが、一つひとつ壁を乗り越えて、本校の助産学科で助産師になる夢を叶えられるよう応援しています。

助産師国家試験

13年連続 100%!!



設備が充実!
分娩台が7台!



妊娠期フィジカルイグザミネーション



母体救急シミュレーション



マタニティビクス



本校で過ごした日々はとても学びが多く、また、助産師になりたいとより強く感じた一年でした。助産学科はハードであると耳にしていましたが、実際、スケジュールが詰まったカリキュラムや24時間体制の実習、また実習では母児ふたりの命を同時に背負うことの責任や恐怖など、今まで経験したことのない場面に向き合わなければなりませんでした。しかし、この中でも乗り超えることができたのは、クラスメイトの存在が大きいです。本校に入学し、同じ助産師を志す仲間に囲まれ勉強し、将来やりたいことや目指していることを話す時間はとても楽しく、多くの刺激をもらいました。また、実習での産婦さんとの出会いや、憧れとする助産師を間近で見て実際の助産ケアを学ぶことができたことで、より自分も臨床で助産師としてたくさんの母児と関わっていきたいと思うことができ、とても充実した日々を過ごすことができました。

看護学科：3年課程

- 定員 40名（修業年限3年）
- 入学資格 高等学校以上の卒業資格を持ち看護師を希望するもの
- 卒業後に取得できる資格 看護師国家試験の受験資格

教育方針

1. 生命の尊厳と高い倫理観を基盤とした人間愛を養う。
2. 生涯学び続ける探求心や豊かな人間性を身に付ける。
3. 専門的知識と科学的根拠に基づいた判断力と実践力を身に付ける。
4. 看護の役割と責任を自覚し、他の専門職種の役割を理解し、多職種と連携・協働できる能力を身に付けることができる。
5. 専門職業人として、社会の動向に対応し、地域社会の保健・医療・福祉の向上に貢献することができる。

3年間
総単位 109単位
(3,010時間)

3年間カリキュラム

当学科では、看護専門職者としての成長を目的に、看護実践能力の強化を目指し、シミュレーション等アクティブラーニングを多く取り入れ、能動的な学びを支援しています。



3年生

<基礎分野>医療と経済 / 芸術
<専門基礎分野>公衆衛生学 / 社会保障と社会福祉 / 関係法規 / 総合保健医療論
<専門分野>看護の統合と実践
<臨地実習>地域 / 在宅看護論実習Ⅰ～Ⅱ / 成人・老年看護学実習Ⅲ /
小児看護学実習 / 母性看護学実習 / 精神看護学実習 /
統合実習

2年生

<基礎分野>論理学 / 哲学 / 倫理学 / 運動生理学
<専門基礎分野>疾病治療論Ⅲ～VII
<専門分野>基礎看護学 / 地域・在宅看護論 / 成人・老年看護学 / 小児看護学 /
母性看護学 / 精神看護学
<臨地実習>基礎看護学実習Ⅲ / 成人・老年看護学実習Ⅰ～Ⅱ

1年生

<基礎分野>情報リテラシー / 心理学 / 文学 / 人間関係論 / 社会学 / 英語 / 教育学 / ホスピタリティ論
<専門基礎分野>解剖生理学Ⅰ～IV / 生化学 / 病理学 / 治療論 / 疾病治療論Ⅰ～Ⅱ / 臨床検査 / 薬理学
微生物学 / 栄養学
<専門分野>基礎看護学 / 地域・在宅看護論 / 成人看護学 / 老年看護学 / 小児看護学 / 母性看護学
<臨地実習>基礎看護学実習Ⅰ～Ⅱ

看護師国家試験合格率	
年度	当校（全国）
2019 年度	100% (89.2%)
2020 年度	97.6% (90.4%)
2021 年度	100% (91.3%)
2022 年度	100% (90.8%)
2023 年度	97.5% (87.8%)

3年間でかかる経費	
※参考	
入学料	5,650 円
授業料	536,400 円 (14,900×12×3)
テキスト (iPad・Unitext・紙テキスト) 白衣・シューズ等 演習物品	248,000 円 50,000 円 50,000 円
1年次クラス費 (教材・実習費・模擬試験・医学書院 OWLK 等)	190,000 円
2年次クラス費 (教材・実習費・模擬試験)	60,000 円
3年次クラス費 (教材・実習費・模擬試験・国試験受験費用等)	160,000 円
計	1,264,050 円



私は、自分の行動で相手が笑顔になることに幸せを感じ、看護師を志しました。そして、病気や怪我で苦しんでいる方が、希望をもって治療に向き合えるよう心に寄り添い、多くの方を笑顔にしたいと考え「笑顔の素敵な看護師になる」という夢をもつようになりました。

当校は、生徒一人一人のなりたい看護師像に対して真摯に向き合い、成長を支援してくれる学校です。特に魅力的なのは学習環境です。講義は内部教員だけではなく、様々な医療現場で活躍されている講師の臨床の様子や経験談を受講できます。また、演習では、実際の臨床現場をリアルに再現したシミュレーション学習により、専門的な知識・技術・態度について理解を深められます。実習では、患者様との関わりを通じながら、患者様の望む看護について、丁寧に指導を受けられます。

皆さんもぜひ当校に入學し、自分の思い描く看護師像に向かって一緒に励みましょう！



私は幼い頃から看護師になることが夢でした。高校までの学習内容に比べ、専門的な知識や技術を学ぶことの大変さはありますが、興味深い講義が多く、演習では患者体験をするなど、楽しく学びながら日々学生生活を送っています。

また、講義で使用するテキストは iPad を用いているので、テキストの持ち運びの負担も減り、学習効率も上がるため、学習意欲が高まります。

基礎看護学実習では、初めて患者さんを受け持たせていただき、緊張と不安でいっぱいでしたが、仲間と協力し、先生方に支援を受けながら、看護援助を実施することができ、自分自身が成長するきっかけとなりました。

2年生は、看護に関する専門的な知識や技術の習得が必要となるため、さらに努力し、仲間と支え合いながら乗り越えていきたいです。

看護学科：2年課程

- 定員 40名（修業年限2年）
- 入学資格 准看護師の資格を持ち看護師を希望するもの
- 卒業後に取得できる資格
看護師国家試験の受験資格

教育目標

1. 人間を統合的に理解し、尊重する態度を養う。
2. 専門的知識に基づいた判断力と実践力を養う。
3. 看護の役割と責任を自覚し、関係する人々と連携・協働できる能力を養う。
4. 専門職業人として社会の動向に対応し、看護の変革を担えるための能力を養う。



1年次	2年次
基礎分野	
論理的思考、情報リテラシー、心理学、看護と科学、看護に生かす教育学、人間関係論	
解剖生理学Ⅰ～Ⅱ、生化学、治療法概説、疾病治療論Ⅰ～Ⅲ、微生物学、薬理学、看護栄養学	看護情報科学、社会学、倫理学、英語 社会福祉、保健医療論、関係法規、公衆衛生学
専門分野	
基礎看護学、地域・在宅看護論概論、地域・在宅看護論方法論Ⅰ～Ⅲ 成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学概論、領域別看護過程Ⅰ	基礎看護学（診療の補助技術）、地域・在宅看護論方法論Ⅳ 精神看護学方法論Ⅰ～Ⅱ 領域別看護過程Ⅱ 看護研究、災害看護と国際看護、統合技術、臨床実践
臨地実習	
基礎看護学実習（病院） 地域・在宅看護論実習Ⅰ (通所介護・リハビリテーション事業所、市町村保健センター) 小児看護学実習Ⅰ（保育所）	地域・在宅看護論実習Ⅱ、成人看護学実習、老年看護学実習、小児看護学実習Ⅱ、母性看護学実習、精神看護学実習、看護の統合と実践実習

看護師国家試験 合格率

5年連続 100%



年間スケジュール

1年次	2年次
講義が中心	臨地実習が中心
4月 入学式	4月 察知オブリエンテーション
7月 察知オブリエンテーション	5～11月 領域別臨地実習
8～9月 地域・在宅 看護論実習	2月 看護師国家試験
	3月 卒業式
11～12月 基礎看護学実習	
1～3月 講義・演習	

基礎看護学演習 (経管栄養法)



基礎看護学演習 (フィジカルアセスメント)



准看護師学校で学んだ知識・技術を基に、看護実践力を積み上げられるよう、教育を行っています

小児看護学学内実習



私は、看護技術の向上や疾患の理解を深め患者様により良い看護を行えるようになりたいと考えて、准看護学校から本校へ進学しました。入学当初は、年齢が違うクラスメイトと上手くやっていけるのか、勉強についていけるのかなど不安を抱えていました。

講義にはグループワークが多く取り入れられており、皆で意見交換をしながら理解を深めることが必要なため、協調性が養われてきてていることを実感しています。また、演習では、臨地実習に備えてシミュレーションモデルを活用し、臨床現場を想定した臨床判断について学習しています。基礎看護学実習では、1人の患者様を受け持たせて頂き、看護過程を展開しました。初めての看護過程の展開であり、患者様のおかれている状況をアセスメントして、個別性のある看護計画を立案し実践することに難しさを感じることもありました。しかし、グループのメンバーや臨地実習指導者から助言を頂いたり、教員から生徒一人一人が理解できるまで根気強くご指導頂いたことで、無事実習を終えることができ、今は達成感を感じています。

講義・演習・実習を通し、時に意見し、時には励まし合いながら学びを深めてきたクラスメイトとは、年齢や経験の壁はなく“看護師になる”という同じ目標を目指す“心強い仲間”になっており、入学当初に抱いていた不安は払拭されています。

今、私は、年齢や経験に関係なく等しく学びの場を与えてくれた本校に感謝するとともにこの学校で学べることを誇りに思っています。

これから2年生になり領域別実習がはじまります。この先の実習ではつまずいたり多くの壁にぶち当たることもあるでしょう。しかし信頼できるクラスの仲間と共に切磋琢磨乗り越えていきたいと思います。



私は准看護師免許取得後、病院へ就職しましたが勤務しているうちに自身の知識の浅さや未熟さを痛感し、知識、技術を身に付けより良い看護を提供したいと考え看護師を目指しました。

入学し、子育てをしながら授業や実習を乗り越えていくか不安でしたが周囲のサポートも得ながら、乗り越えていくことが出来ました。また、子を持つクラスメイトも多く、子育てしながらの学生生活の大変さを分かち合い、相談でき、とても心強かったです。2年課程には様々な年齢、社会経験を持つ仲間があり、普段の学校生活の中でも活発な意見交換ができ、看護師としてだけでなく個人としての成長にも繋がったと感じています。授業では、医療従事者の講師の講義を聞くことができ、教科書上の勉強だけでなく実際の医療現場の事例も交え、教えてくださるため臨床現場での状況も学びながら具体性のある勉強することができました。実習では、座学で学んだ事を基盤に受け持ち患者様へ個別性のある看護を提供するため限られた時間での看護展開を行いました。大変さはありましたが、楽しさも辛さも共有できる仲間がいたこと、先生方や臨地実習場の指導者様の手厚いサポート、指導のお陰で、看護実践を行い看護の楽しさや、やりがいを感じながら実習を行うことができました。

国家試験では、委員を中心に1年生から少しづつ国家試験対策を行い、クラスで「全員合格」を掲げ、勉強し分からぬ所は先生方やクラスメイトに聞き、お互いに教えあい勉強を進めていき国家試験に臨むことが出来ました。

2年間を振り返ると学生生活は決して楽なものではありませんでしたが、先生方や仲間との出会い、経験を通して様々な事を学ぶことができ、やりきることが出来た自分への自信にも繋がりました。本校での経験や学びは私の人生においてとても大きな財産になったと思います。本校は学生の個性や主体性を尊重し大切にしてくれる学校です。

皆さんも本校で学び、自身の個性を伸ばしながら看護師になるという目標と一緒に叶えましょう。





学校のシンボル時計台



学生ロビー



図書室：約 20000 冊



看護実習室



助産実習室



沐浴室

学生寮



個室の学習環境

イメージキャラクター紹介



助産学科：ジョサリーナ

3年課程：ラブリン

2年課程：フォニカ

実習施設

2023年度 ※50音順

助産学科：茨城県立こども病院 茨城県立中央病院 県北医療センター高萩協同病院
総合病院土浦協同病院 総合守谷第一病院 筑波学園病院 つくばセントラル病院
とべ助産院 日製日立総合病院 まつばらウイメンズクリニック 水戸済生会総合病院
水戸赤十字病院
(県外) あびこ助産院 稲田助産院 さくら産後院 助産院バースあおば
世田谷区立産後ケアセンター

3年課程：愛正会茨城福祉医療センター 石崎病院 茨城県立こころの医療センター
茨城県立こども病院 茨城県立中央病院 笠間市立病院 筑波メディカルセンター病院
日製ひたちなか総合病院 ひたちなか母と子の病院 龍ヶ崎済生会病院

2年課程：茨城県立こころの医療センター 茨城県立こども病院 茨城県立中央病院 筑波学園病院
日製日立総合病院 日製ひたちなか総合病院 水戸済生会総合病院 水戸赤十字病院

就職施設

2023年度卒業生 ※50音順

助産学科：茨城県立中央病院 茨城西南医療センター 霞ヶ浦医療センター 総合病院土浦協同病院
つくばセントラル病院 筑波大学附属病院 日製日立総合病院 水戸済生会総合病院
(県外) 神奈川県立こども医療センター 川崎市立病院 済生会宇都宮病院
順天堂大学附属病院 日鋼記念病院

3年課程：茨城県立こども病院 茨城県立中央病院 茨城県西部メディカルセンター
牛久愛和総合病院 北茨城市民病院 小山記念病院 済生会横浜南部病院 水府病院
日立製作所日立総合病院 日立製作所ひたちなか総合病院 つくばセントラル病院
筑波メディカルセンター病院 東京医科大学茨城医療センター 水戸済生会総合病院
水戸赤十字病院 龍ヶ崎済生会病院

2年課程：茨城県西部メディカルセンター 茨城県立こども病院 茨城県立中央病院 上の原病院
牛久愛和総合病院 小山記念病院 さくらがわ地域医療センター 高萩協同病院
筑波大学附属病院 水戸済生会総合病院



ACCESS

[JR常磐線 友部駅南口下車]

- 茨城交通バスで約5分
（中央病院行または中央病院経由水戸駅行）中央病院前下車
- 歩道約20分

[常磐自動車道]

- 友部SAスマートIC(ETC専用)より約15分
- 水戸ICより約20分
- 岩間ICより約20分

[北関東自動車道]

- 友部ICより約10分



茨城県立中央看護専門学校

〒309-170 笠間市鯉淵 6528

TEL : 0296 (77) 0533 (3年課程)
0296 (70) 5521 (助産・2年課程)
0296 (77) 0588 (庶務)

FAX : 0296 (78) 0079

E-mail : chuuoukansen@pref.ibaraki.lg.jp